

～ 超高層複合ビル内で金融サービス機能も強化～

「あべのハルカス」18階を金融フロアに！

～ 地下1階に外貨両替ショップとATMも設置。お買い物客やインバウンド旅客にも便利に。～

近鉄では、平成26年春のオープンを目指し、高さ日本一となる300mの超高層複合ビル「あべのハルカス」(地下5階、地上60階)の建設事業を鋭意進めています。

「あべのハルカス」は、大阪阿部野橋駅の直上に立地し、日本最大の売場面積を誇る近鉄百貨店をはじめ、関西初進出となる「大阪マリOTT都ホテル」、最先端の大規模オフィス、都市型美術館、展望台などで構成される超高層複合ビルです。

このたび、ビルのサービスをさらに強化するため、18階を金融フロアと位置付け、銀行および証券会社の店舗を誘致することを決定しました。主要な金融サービスをワンフロアに用意することで、「あべのハルカス」のお客様や入居テナントの利便性向上を図ります。今般、出店者として同金融フロアおよび地下1階(百貨店ゾーン)において、池田泉州銀行阿倍野支店ならびに同行外貨両替ショップ阿倍野店の開設が決定しました。

18階の同行阿倍野支店には、ゆったりと眺望を楽しめる相談コーナー・ラウンジを設けるとともに、地下1階の外貨両替ショップには、世界21種類の通貨とATMコーナーをご用意して土曜日・日曜日・祝日のご利用も可能とします。オフィスワーカーや近鉄百貨店をご利用のお客様の利便性向上とともに、今後、大幅に増加すると予想される関西国際空港経由での外国からのお客様にも便利にご活用いただければと考えています。

「あべのハルカス」では、今後も施設の充実を通じて、ターミナルとしての拠点性、魅力度を飛躍的に向上させていきたいと考えています。

(参考)「あべのハルカス」概要

所在地 : 大阪市阿倍野区阿倍野筋1丁目1-43
開業予定 : 平成26年春
敷地面積 : 約28,700 m²
延床面積 : 約306,000 m²(建設中のタワー館部分約212,000 m²)
高さ : 300m、地下5階・地上60階
フロア構成 : B2-14F 百貨店(約83,000 m²)
 16F 美術館(展示面積 約900 m²)
 17・18F 21-36F オフィス(約62,000 m²)
 19・20F 38-55F 57F ホテル(約32,000 m²)
 58-60F 展望台

設計 : 株式会社竹中工務店

外観デザイン監修 : シーザー・ペリ氏(ペリ クラーク ペリアーキテクト代表)

施工 : 竹中工務店、奥村組、大林組、大日本土木、銭高組共同企業体



「あべのハルカス」完成後イメージ

以 上